

◇石川商店街環境整備事業の概要◇

◆事業名：石川商店街環境整備事業	◆設計期間：2010年4月～2011年3月
◆所在地：神奈川県横浜市中区石川町一丁目1～15番地	◆施工期間：2012年9月～2013年3月
◆発注者：石川商店街協同組合	◆総事業費：133,308,000円(消費税込)
◆設計監理者：株式会社アーキテクト・アソシエイツ・ヨコハマ	◆資金計画
◆施工者：小雀建設株式会社	自己資金 32,626,000円 ※1/6(消費税込)
◆施工協力者：前田道路株式会社 日本街路灯製造株式会社	中小商業活力向上補助金 68,056,000円 ※国補助金:2/3(消費税抜)
◆関連工事：横浜市中土木事務所 発注 (路盤整備) 栄産業有限会社 県央建設株式会社	商店街環境整備支援事業補助金 32,626,000円 ※横浜市補助金:1/6(消費税込)
	合 計 133,308,000円

◆事業内容(工事費:消費税抜き)

1. 舗装工事

- ①車道舗装(官地)
- a. 工事費 33,245,840円
 - b. 規模 半たわみ性舗(ショットアラスト, 目地切) 684.1㎡
 - c. 特徴 車道幅員を3.5～4.5mから3.0～4.0mに狭め歩道を拡幅し(一部4.5m)車両の速度抑制のためのハンプを設置

②歩道舗装

- ②-1)歩道舗装(官地)
- a. 工事費 34,379,160円
 - b. 規模 御影石(ハートナ仕上) 795.7㎡
- ②-2)歩道舗装(民地)
- a. 工事費 20,375,000円
 - b. 規模 御影石(ハートナ仕上) 410.2㎡
 - c. 特徴 官地歩道と民地歩道の一体的に舗装

2. 街路灯工事

- a. 工事費 19,582,000円
- b. 規模 街路灯A 4基(入口部) 街路灯B 9基(通常部)
- c. 特徴 LED街路灯
上部に下方照明3灯・下部に足元灯1灯配置

3. ボラード工事

- a. 工事費 12,192,000円
- b. 規模 ボラードA 11基 ボラードC 3基
ボラードB 35基 ボラードD 7基
- c. 特徴 LED照明内臓の高強度FRP

4. 商店街マップ情報板工事

- a. 工事費 1,014,000円
- b. 規模 商店街マップ情報板 1基
- c. 特徴 イラスト風の商店街全景マップ

5. 防犯カメラ工事

- a. 工事費 1,672,000円
- b. 規模 防犯カメラ 4基
- c. 特徴 ドーム型の防犯カメラ

◆その他関連事業

- ※電柱移設
商店街の川側歩道のほぼ中央に建っている電柱を歩道幅員に余裕のある山側歩道の車道側に移設

施工者：電柱移設/配線

エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社
株式会社コミュニチュア

配線

東京電力株式会社
KDDI株式会社
キャンシステム株式会社
株式会社J:COM湘南
株式会社USEN

ガス管更新

東京ガス株式会社

2013.03

アイ・モールからアイ・キャナルストリートへ

石川商店街環境整備事業と 活性化の取り組み



i-canal street

石川町は先人達から引き継ぎ栄えてきた古い歴史があり、また地形的にも坂や河(運河)があり、誰にでも誇れるまちです。特に港へとつながる運河は、石川町の歴史を物語る今も残るまちの財産として、大切にしていきたいと考えています。



キャナル：英語で運河の意味です

2013.03 アイ・モールからアイ・キャナルストリートへ
石川商店街環境整備事業と活性化の取り組み

発行：石川商店街協同組合

〒231-0868 神奈川県横浜市中区石川町1-15

TEL 090-9201-1574/FAX 045-641-4516 <http://www.i-canalstreet.jp>

編集：株式会社アーキテクト・アソシエイツ・ヨコハマ

設計・監理



ゆっくり歩ける滞留型商店街

i-canal street へ生まれかわりました

電柱移設・車道舗装・歩道舗装

おやすみ広場



滞留商店街へ向けて、最も大きな効果のある広場です。元々あったシンボルツリーを残し、ベンチ型ボラードを設置しました。商店街案内マップや、元々商店街の歩道に埋め込まれていた絵タイルも復元しました。



案内版



絵タイル



バリアフリーで歩きやすくするため、川側にあった電柱を山側に移設し、歩道を拡幅するため一部の車道幅員を狭くしました。また、車のスピードを抑え、車椅子やベビーカー等の横断が楽になる様に4ヶ所にハンプ(減速帯)を設け、横断しやすく、滞留性向上を図りました。

半たわみ(ハンプ部)

車道舗装は耐久性を向上させるため半たわみ性舗装を採用し、デザイン性向上のため、ショットプラストの上目地切仕上げとしました。ボラードは対衝撃強度の高いFRP製としました。透光性があり、夜も光の演出をしています。

歩道みかげ石(官民またぎ部)

歩道舗装は元町商店街と同様自然石(御影石)とし、耐久性とデザイン性に配慮しました。歩道幅員を拡げバリアフリーとするため、官地に加えセットバックした民地も一体的に整備することでより広くつかえます。



整備前の通りの様子

整備前の歩道部



商店街の両サイド(元町側、JR石川町側)にウェルカムタワーとしての街路灯を設置しました。港や運河をテーマにして、3本のマストをイメージしています。ボラードと同じ透光性のある強化FRP製とし、季節や時間ごとに光が変化する演出をしています。



ゆっくり歩ける滞留型商店街づくり [コンセプト]

港へつながるまち、未来へつなげるまち石川町

バリアフリー

- ・歩道の拡幅(車道幅員縮小)
- ・電柱の移設
- ・ハンプ設置(車速抑制・横断帯)

滞留型商店街への仕掛

- ・お休み広場の新設
- ・ベンチ型ボラードの新設
- ・商店街マップの新設

防犯

- ・防犯カメラ設置

歴史を生きしながら持続可能なまちへ

エコ

- ・LED街路灯採用

ソフト事業 (活性化イベント)

写真・絵画
展示

ロゴマーク
コンテスト

商品発掘
調査隊

商店街
ボランティア隊
(サポーター)

i-canal street へ

◇これまでのあゆみ◇

- 2007年 8月 : 石川町まちづくり委員会 設立
- 08年 3月 : 横浜市「ライブタウン整備事業」にて石川商店街整備の検討開始 関係各局・機関との協議
- 08年 4月 : まちの構想づくり「まちあるき」の実施
- 08年11月 : 石川商店街電線地中化による整備の検討開始 環境整備検討部会を設置
- 09年 3月~: 横浜市「商店街環境整備支援事業」基本計画の策定: 地中化を断念し電柱移設へ
- 09年12月 : 「商店街環境整備支援事業」計画認定
- 10年 4月 : 「商店街環境整備支援事業」実施設計開始 (2011年3月完了)
- 11年 4月 : 東日本大震災のため国の補助金減額により事業実施を次年度に延期する
- 11年 7月 : 「地域商店街活性化法」認定に向けた経済産業局との協議再開
- 11年12月 : 「地域商店街活性化法」商店街活性化事業計画 認定
- 12年 4月 : 「中小商業活力向上事業」要望書 採択
- 12年 5月 : 「中小商業活力向上補助金」交付決定→経済産業省「地域商店街活性化法」・「中小商業活力向上事業」
- 12年 6月 : 「商店街環境整備支援事業」交付決定→横浜市「商店街環境整備支援事業」
- 12年 9月 : 工事着工
- 13年 3月 : 竣工

ゆっくり歩ける滞留型商店街づくり [取組み]

石川商店街の問題点は次の通りでした

- ① 来街者数が減少しています
- ② 石川町駅から元町商店街や観光地へ向かう来街者が通過するだけで滞留していません
- ③ 近隣地域住民の商店街への愛着が薄れ魅力と地域コミュニティ機能が低下しています
- ④ 歩道幅員が狭く歩行者が車道に出ないとすれ違ふことができず安全に通行できません
- ⑤ イベント等の開催時現在の歩道幅員では良好な歩行空間が確保できずイベント場所が限られています

地域住民のニーズは次の通りでした

- ① 歩きやすいゆったりとした歩道がほしい
- ② エコを取り入れた環境事業を行ってほしい
- ③ ベンチなどの休憩施設がほしい
- ④ 人に優しいバリアフリーの歩道がほしい
- ⑤ 街並みや景観などおしゃれなまちになってほしい
- ⑥ 水・緑・花など自然環境のある空間がほしい



問題を解決するため...

テーマの設定「港へつながるまち、未来へつなげるまち石川町」のために

① 滞留型商店街の実現

明治・大正・昭和初期の石川町では運河を利用して人と物が集まっていた歴史があり、港や船舶との商いにより発展しまさに滞留型商店街だった歴史から、石川商店街共通テーマを「港へつながるまち、未来へつなげるまち石川町」とし、昔のにぎわいを現在に再現することを目指します。歴史ある運河・山手の坂等の自然環境に恵まれたイメージを広くアピールし、地域コミュニティの中心商店街としての役割を果たします。

② 地元参加型イベントの定期開催

地域住民の呼び戻しと新規の来街者の呼び込みを図り、ボランティア活動事業による石川商店街ファンの獲得、石川町商品発掘調査隊による個性的な商品を開発します。写真・絵画展示で歴史との触れ合いなどをおして、滞留型のオンリーワン商店街を目指す。

③ 歩道拡幅と電柱移設

滞留型商店街の実現に向け、安全性と利便性を高めるため、歩道の拡幅と電柱の移設を行います。同じにセットバックで生み出された民地と歩道を一体的に舗装整備して、バリアフリー化と広幅員化を図ります。LED街路灯や防犯カメラの設置、緑化による「やすらぎ」の演出を加えて、安全安心に街歩きやショッピングが楽しめる環境を整えます。

④ 滞留型商店街

滞留させる環境を後押しする取り組みとして、地区内唯一の既存公衆トイレの美化運動や商店街マップ情報板の設置、お休み広場整備、街並み景観対策事業を進めます。これらの事業を推進することにより街並みの改善を進めます。お隣の元町商店街ほど気張らず普段着で気軽に質の良いものが手頃な価格で買える街へと差別化を図り、観光客と地元住民の幅広い客層を対象に商店街の活性化を目指します。

⑤ 来街者増加・売上げ増

目標来街者数は、平成16年と比べ平成22年時点の減少に歯止めを掛け、事業終了年の平成26年には平成22年の来街者数より5%増加をめざします。また、商店街の売上高の増加を設定し平成23年と比べ事業終了年の平成26年には5%増を目指します。



石川商店街の活性化対策

今回の環境整備事業では、ハード整備と共にソフト事業にも力を入れています。

商品発掘

古写真展示

デジタルアーカイブス

石川町の古い写真を探し展示中

エコバッグ Green
銀製タグ 中外鋳業
ノンアルコール甘酒 伊勢屋松山商店
生クリームあんみつ いろいろ
横浜石川町 カレーパン ヴィドフランス

石川町ブランドづくり事業として「石川町いち押し商品」を展開中です。

明治大学とのコラボレーション
(商学部中川ゼミナール協力)



商店街デジタルアーカイブスを作成中ですが、その経過を掲示しています。

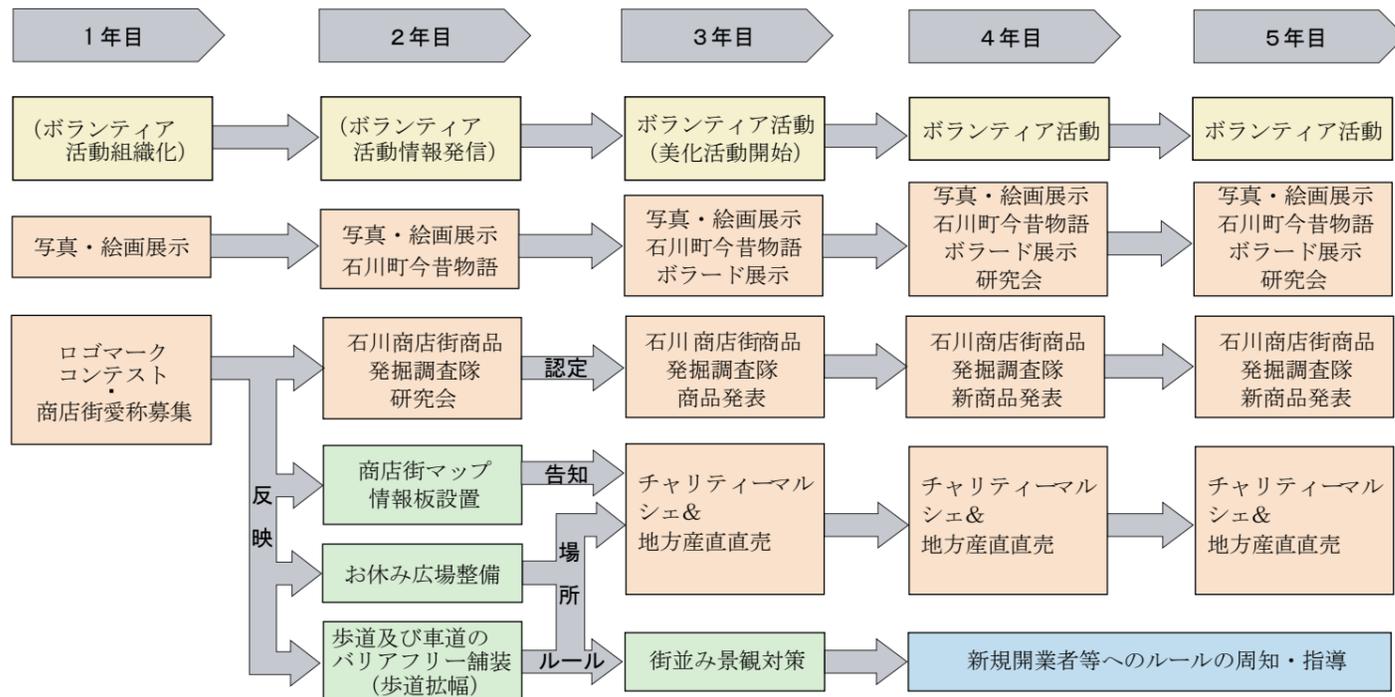
◇石川商店街まちづくりルールブック◇

ハード整備で歩きやすく、滞留型商店街に生まれ変わった通りを継承していくためにも、各店舗の方に商店街の文化やルールなどを知っていただく必要があります。そこで、石川商店街では、まちのルールづくりに取り組み、3年の歳月をかけ「石川商店街まちづくりルール」を策定いたしました。

そして、ルールブックとしてまとめることで、ルールが目に見える形でいつも身近にあり、いつでも誰でもルールを守り活用できるよう、日々運用していくことにしました。住宅地のルールである「石川町住まい方ルール」と一体的に、このルールを守り育てることで、当たり前なのがしっかりと守れる魅力ある地域を目指します。

- 1、親しみやすく賑わいのある商店街づくりのための 建物の用途について
- 2、ゆとりある街路と個性ある建物づくりのための 建物の形態や意匠について
- 3、魅力ある個店の顔をつくりワンランク上の商店街を目指すための 外観のデザインや材質・色について
- 4、調和の取れた景観づくりのための 看板等の設置について
- 5、環境整備事業の成果を生かしゆとりのある歩行者空間を確保するための 歩道等の使い方について
- 6、良質な商店街を実現するための 騒音や臭いに対する配慮について
- 7、来街者やお客様を楽しませつつ近隣と良い関係を築くための 迷惑行為の禁止と注意について
- 8、清潔できれいな商店街を実現するための ゴミ処理について
- 9、清掃が行き届き美しく保つための 街路やまちの維持について
- 10、みんなでまちを育て継承していくための まちづくりへの参加について

事業工程イメージ



今回の活性化対策は、平成24年度から平成28年度までの5年計画で取り組んでいます。石川商店街環境整備事業は2年目で完成しますが、今後も様々な活性化事業に取り組み「港へつながるまち、未来へつながるまち石川町」を目指します。

まちの方々がいつでもどこでも手に取って確認いただける様ルールブックとしてまとめました。商店街と町内会ふたつでセットになっています